

都会にはない良さがたくさんある。

「当たり前だと思っていた田舎暮らし」

電車はなくバスの本数も少ないが、

時間はゆつくりと流れている

高いビルやマンションはないが、

川や山などの自然が広がっている

都会では近所に住む人すらわからないが、

すれ違えば会話が始まる

大きいデパートで買い物はできないが、

田んぼや畑が広がり自給自足の生活を送ることができる

明るいネオンで街は照らされていないが、

夜空を見上げるとそこには無数の星空が広がっている

大きな道路や高速道路はないが、

夜には虫たちの心地の良い鳴き声が聞こえてくる

温かい人々・自然に囲まれながら生活を送っていく。

【特集】

地域おこし協力隊

川俣町の中心部から約280キロ。

東京23区内で4番目の広さを誇り、

「小松菜」発祥の地である東京都江戸川区。

区の東側に江戸川が流れ、千葉県に隣接している。

そこ東京都江戸川区から、

1人の女性が地域おこし協力隊としてやってきた。

川俣町で地域おこし協力隊の制度が始まったのは、

平成30年5月。

山田 ゆめみ 夢実さんが、

第一号の地域おこし協力隊となった。

ここ川俣に新たな「風」が吹くー。